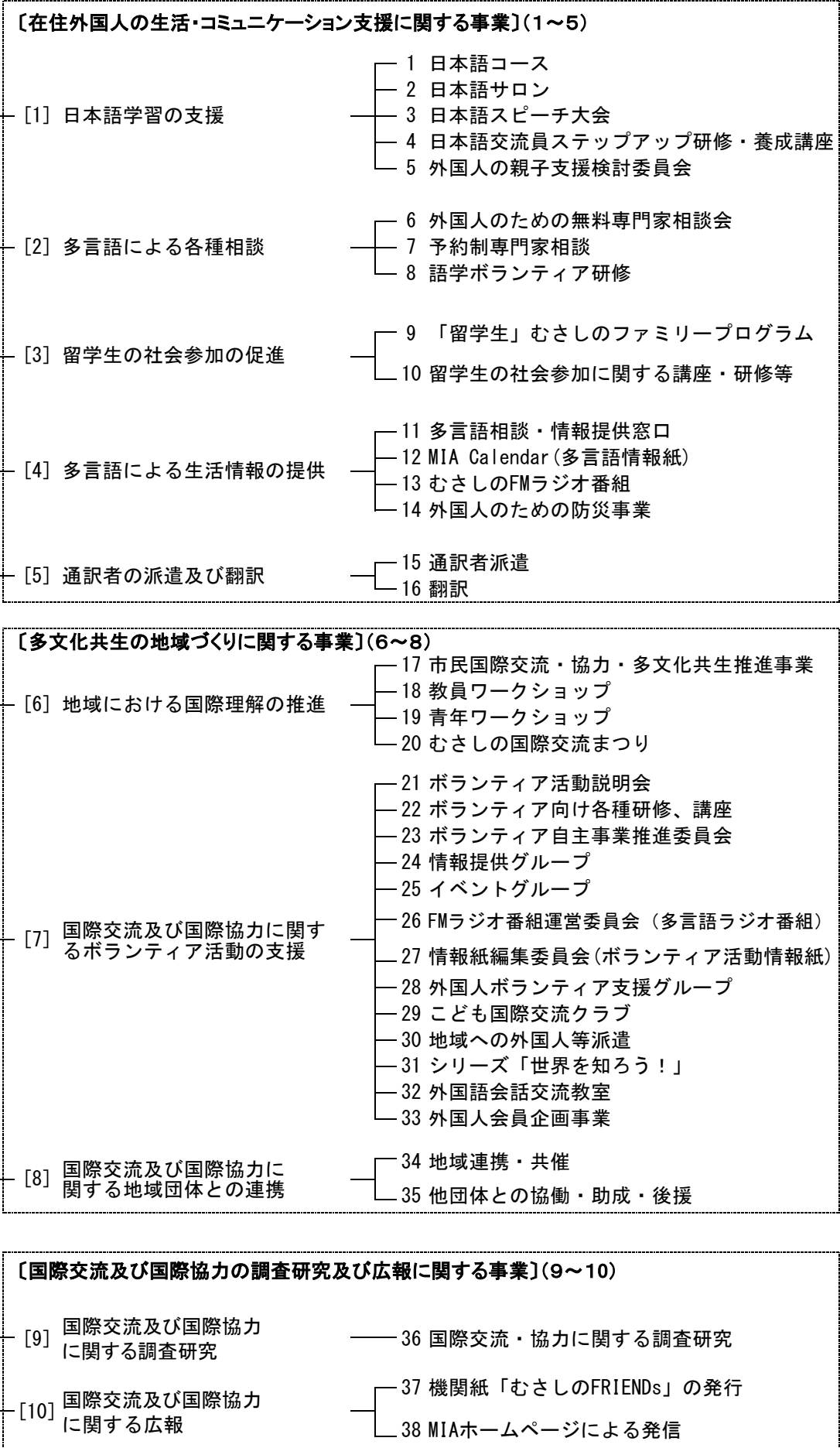


令和 2 年度 事業計画書
令和 2 年度 収支予算書兼
資金調達及び設備投資の見込み

令和 2 年 3 月

公益財団法人武蔵野市国際交流協会

事業・組織体系図



【公1】 地域における国際交流及び国際協力の推進並びに在住外国人の支援に関する事業

第1 事業方針

1. はじめに

昭和61年、武蔵野市平和問題懇談会の提言書に基づき武蔵野市国際交流委員会が設置され、昭和63年の最終答申に「武蔵野国際交流事業団（仮称）」の構想が盛り込まれました。これを受けて、当協会（MIA）が平成元年10月に任意団体として設立され、昨年（令和元年10月）に30周年を迎えました。この間、平成21年4月に念願であった一般財団法人化を果たし、続く平成22年4月には当時全国に先駆けて公益認定を取得し、新たに公益財団法人として運営体制を強化しました。以後、在住外国人の生活支援・コミュニケーション支援・多文化共生の地域づくりの3つを柱とし、定款に定められた10分野にわたる事業を推進しながら、都内屈指の地域に密着した国際交流団体として成長してまいりました。これもひとえに武蔵野市をはじめとする関係諸団体そして評議員・役員等の皆様や協会会員、ボランティアの方々の並々ならぬご支援、ご協力の賜物として深く感謝いたします。令和2年度も引き続き、武蔵野市を中心とする市民主体の国際交流、国際協力、在住外国人支援を推進し、国際相互理解と地域の多文化共生を図り、国際平和に寄与する開かれたまちづくりに貢献してまいります。

2. 外国人をめぐる国・東京都・武蔵野市等の動き

(1) 国の施策

平成31年4月から改正入管難民法が施行され、また、令和2年度に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も控え、外国人の一層の増加や定住化が見込まれる中で、国は平成30年12月に「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」をまとめました。その中で「外国人受入環境整備交付金」を予算化し、全都道府県と全市町村を対象に情報提供及び相談を行う一元的な窓口となる「多文化共生総合相談ワンストップセンター」の設置を支援・促進しました。「多文化共生総合相談ワンストップセンター」は、全国100か所での開設が目標とされ、運営が順次始まっています。

(2) 東京都の施策

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、多くの外国人の訪問や多文化共生意識の高まりが予想されるとともに、大会関連ボランティアが誕生していることから、これらのレガシーを活用して次の世代に引き継いで発展させるために令和2年度秋に新たな財団を設立する計画があります。そこでは従来、東京都国際交流委員会が行っている事業に加えて「多文化共生社会づくり」と「共助社会づくり」を柱に、新たな取り組みとして「ワンストップ相談ナビと都内窓口支援」「地域日本語教育の推進」「通訳派遣事業」「やさしい日本語の活用促進」などの実施を予定しています。

(3) 武蔵野市の施策

令和2年度～11年度の10年間を計画期間とする「武蔵野市第六期長期計画案」が昨年10月にまとめられました。この中で、「国の動向」として外国人材の受け入れ制度の拡大と在住外国人の増加について触れられ、市の「基本施策」としては、「外国籍市民

の支援」が盛り込まれています。MIA との関係では、『外国籍市民のサポートを担っている（公財）武蔵野市国際交流協会の機能の強化、会員や地域における協力者の拡大を図る』とされています。

3. MIA の課題

武蔵野市内及び近隣地域には多くの外国人住民が暮らしており、今後もさらに増加が見込まれます。多様な文化や生活習慣を持つ外国人住民が地域で安心して暮らしていけるような環境づくりや、また日本人にとっても外国人にとっても住みやすい多文化共生の地域づくりを目指し、多くの関係者のご理解とご協力のもと、また外国人・市民ボランティアの参加とご協力のもとで取り組んでいる当協会の多様な事業の意義が年々高まりつつあります。

昨年（令和元年 10 月）に MIA が創立 30 周年を迎えたことから、当協会の取り組みの意義を改めて確認すると共に、現在組織が抱える課題について検討し、「公益財団法人武蔵野市国際交流協会（MIA）の課題」として別途まとめました。

その中で、「事業の見直し」「経営関係」「施設関係」「組織体制」「人事・給与制度」「他組織との関係」の 6 つの柱についての課題を提起しました。

今後、これらを評議員・役員等の皆様や職員、武蔵野市などと共有することで将来の方向性やあり方について議論を進め、新たな MIA の事業方針を策定してまいります。

第2 事業計画

総事業費 26,071 千円(人件費、法人会計を除く。共通経費 13,662 千円含む。)

[在住外国人の生活・コミュニケーション支援に関する事業]

事業名	概要	備考
<p>[1]日本語学習の支援 <u>1,963 千円</u></p> <p>1. 日本語コース</p>	<p>期間：Ⅰ期（5月～7月）Ⅱ期（10月～12月）Ⅲ期（1月～3月）、各期とも木曜日(保育有)・金曜日(保育有)・土曜日(保育無)にコースを設置、各期10回開催</p> <p>内容：外国人が地域で暮らすために必要な日本語学習を日本語ボランティア(日本語交流員)が支援する。教室活動は習熟度及び目的別にいくつかのグループに分けて交流活動を行う。教室活動は原則全10回を1コースに開催。コース参加者は、マンツーマン活動にも参加できる。</p> <p>対象：日本語学習を希望する外国人住民</p> <p>定員：各コース20名程度</p> <p>参加費：600円/回数</p> <p>※EPA 特別コース</p> <p>期間：Ⅲ期（1月～3月）計10回</p> <p>内容：日常会話と交流</p> <p>対象：経済連携協定のもと来日している看護師・介護福祉士候補者で当協会の日本語学習支援を希望する者</p> <p>定員：10名程度</p> <p>参加費：600円/回数</p> <p>※外国人小中学生のための学習支援コース(こどもコース)</p> <p>期間：Ⅰ期（4月～7月）Ⅱ期（9月</p>	

事業名	概要	備考
<p>2. 日本語サロン</p> <p>3. 日本語スピーチ大会</p> <p>4. 日本語交流員ステップアップ研修・養成講座</p>	<p>～12月)Ⅲ期(1月～3月)、各期とも毎水曜日(午後)年間40回程度開催</p> <p>内容:教科学習(宿題サポート)、日本語学習</p> <p>対象:学習支援は日本語を母語としない児童・生徒</p> <p>定員:10名程度 学芸会:15名、交流会:50名</p> <p>参加費:300円/回数</p> <p>期間:随時開催</p> <p>内容:中級レベル以上の外国人向けに、テーマを設定した活動として4～5回を1コースに日本語交流員の自主企画事業として実施</p> <p>対象:日本語習熟度が中級レベル以上の外国人住民</p> <p>定員:10名程度</p> <p>参加費:1,000円/1コース</p> <p>期間:年1回年度末開催</p> <p>内容:外国人市民の意見発表の場としてまた市民の異文化理解の場として日本語交流員の自主企画事業で開催</p> <p>対象:登壇者:外国人住民</p> <p>定員:10名程度</p> <p>参加費:無料</p> <p>期間:日本語交流員ステップアップ研修と養成講座を隔年実施。</p> <p>内容:日本語交流員として日本語コースの運営に関わるうえで必要な知識を学ぶため日本語交流員養成講座と既活動交流員のステッ</p>	<p>令和2年度は「日本語交流員養成講座」を実施する。</p>

事業名	概要	備考
<p>5. 外国人の親子支援検討委員会</p>	<p>プアアップ研修を隔年実施 対象：日本語交流員志望者 定員：50名 養成講座参加費：10回1コース：6,000円 ステップアップ研修参加費：無料</p> <p>日本で子育てをする外国人の親及び日本の教育制度の中で育つ日本語を母語としない子どもを支援 (外国人のための高校進学ガイダンス) ※他団体と連携し、都内6か所でリレー式に開催 期間：年1回 内容：日本の高校へ進学希望者及び保護者に対し、受験制度、学校制度、受験&高校での生活の体験談紹介 対象：日本語を母語としない親子 定員：100名、参加費500円(資料代)</p> <p>(外国人児童・生徒発表会&親子交流会) 対象：日本語を母語としない親子 発表会：15名、交流会:50名 参加費：無料</p>	
<p>[2]多言語による各種相談 471千円 6. 外国人のための無料専門家相談会</p>	<p>期間：年1回開催予定 内容：語学ボランティアと弁護士などの専門家が全員待機し予約不要の法律、労働、心理などの相談会を実施。都内全域で開催されている「都内リレー専門家相談会」の一環としてかつ専門家と語学ボランティアが一堂に会する機会として開催 対象：外国人相談者等</p>	

事業名	概要	備考
<p>7. 予約制専門家相談</p> <p>8. 語学ボランティア研修</p>	<p>定員：無 参加費：無料</p> <p>期間：原則、毎月第4土曜日開催予定 内容：予め電話予約を受けて、相談内容に応じて専門家と語学ボランティアをアレンジし、MIAの事務所で相談に応じる。 対象：外国人相談者等 定員：各回4名程度 参加費：無料</p> <p>期間：随時 内容：通訳案件の複雑化に対応するため、基礎講座、ステップアップ講座などの語学ボランティアの研修（オリエンテーションを含む）を実施 対象：語学ボランティア 定員：25名程度 参加費：無料</p>	
<p>[3] 留学生の社会参加の促進 497千円</p> <p>9. 「留学生」むさしのファミリープログラム</p> <p>10. 留学生の社会参加に関する講座研修など</p>	<p>期間：原則、年2回（4月、10月）募集予定、1年間 内容：近隣の大学と連携し、留学生と地域の家庭がホームビジットを基本に1年間交流するプログラムを実施。参加者向けには、交流会、講座、懇談会などを適宜無料で実施。 対象：近隣大学の留学生、地域の家庭 定員：各回50組程度 参加費：無料</p> <p>期間：年2回程度 内容：参加者向けに講座、懇談会など</p>	

事業名	概要	備考
	<p>を適宜実施。</p> <p>対象：「留学生」むさしのファミリープログラム参加者</p> <p>定員：30名</p> <p>参加費：無料</p>	
<p>[4] 多言語による生活情報の提供 3,142千円</p> <p>11. 多言語相談・情報提供窓口</p> <p>12. MIA Calendar（多言語情報紙）</p> <p>13. むさしのFMラジオ番組</p> <p>14. 外国人のための防災事業</p>	<p>期間：通年</p> <p>内容：外国人が必要とする子育て情報、防災知識、市内の催し物などの生活情報を、コミュニティラジオ（番組）、情報紙、協会ホームページなどの媒体により多言語で提供。語学ボランティアが多言語で相談の受付や情報提供を行う。</p> <p>内容：外国人向け情報紙。日本語、英語、中国語、スペイン語の4言語で作成。外国人会員、関係団体、市各施設の窓口に配布 年4回発行、2,600部</p> <p>期間：月～金と月1回土曜日</p> <p>内容：「NEWS from MIA」月～金の5分番組、及び「MIA プラザ」月1回土曜日に30分トーク番組放送</p> <p>対象：外国人住民等</p> <p>期間：随時</p> <p>内容：外国人のための防災委員会を中心に、むさしの国際交流まつりやむさしの防災フェスタ等で防災に関する啓発活動を実施。また、武蔵野市と締結した「災害</p>	

事業名	概要	備考
	<p>時における外国人支援活動に関する協定書」に基づき市防災ボランティア訓練などに参加し、連携・協力を促進。</p> <p>また、外国人住民が災害弱者とならないよう、どのような支援が可能か、環境づくりができるか、模索・検討しながら事業を行う。</p>	
<p>[5] 通訳者の派遣及び翻訳 949 千円</p> <p>15. 通訳者の派遣</p> <p>16. 翻訳</p>	<p>期間：随時</p> <p>内容：教育・行政窓口・法律相談等に関する通訳派遣及び翻訳依頼に対し語学ボランティアに個別依頼しボランティアができる範囲での通訳及び翻訳活動を実施。</p> <p>通訳費用：2 時間 5,000 円～10,000 円</p> <p>翻訳費用：A 5 判用紙 1 枚以内 5,000 円</p>	

[多文化共生の地域づくりに関する事業]

事業名	概要	備考
<p>[6] 地域における国際理解の推進 2,697 千円</p> <p>17. 市民国際交流・協力・多文化共生推進事業</p>	<p>期間：年1～2回開催</p> <p>内容：国際理解、国際平和、多様な文化などについて市民に理解を深めてもらえるように市民講座を開催</p> <p>令和元年度に引き続き、武蔵野市ルーマニアホストタウン事業の主旨に鑑み、市民向けにルーマニアをテーマとした講座を開催する。</p> <p>対象：会員、市民等</p> <p>定員：20 名程度</p>	

事業名	概要	備考
<p>18. 教員ワークショップ</p> <p>19. 青年ワークショップ</p> <p>20. むさしの国際交流まつり</p>	<p>参加費：無料～300円程度</p> <p>(平成29年度をもって終了)</p> <p>期間：年2回程度</p> <p>内容：地域の大学などと連携し、国際理解の観点で青年が考え、学び合う場を提供し、地域においてグローバル人材育成や多文化共生の理解促進に努める。</p> <p>対象：大学生、地域の青年</p> <p>定員：実施形態による</p> <p>期間：年1回、11月中旬の日曜日に開催</p> <p>内容：MIAの活動を広く一般市民に周知し、より多くの市民に活動に参加してもらえるよう家族ぐるみで楽しめる交流の場として年1回開催。会員、外国人会員、当日ボランティアなどにより運営されNGO、NPO、地域商店会、大学などの協力を得て多文化共生のまちづくりに寄与する。多くの市民にご来場いただけるよう、広報・周知活動に力を入れて開催</p> <p>参加費：無料</p>	
<p>[7] 国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援 892千円</p> <p>21. ボランティア活動説明会</p>	<p>(1) ボランティア活動説明会 (原則下記(2)との隔年開催になる。)</p> <p>期間：年1回程度で開催</p> <p>内容：会員、一般市民を対象にMIAのボランティア活動への参加を呼</p>	<p>令和2年度は「(1)ボランティア活動説明会」を</p>

事業名	概要	備考
<p>22. ボランティア向け各種研修、講座</p> <p>23. ボランティア自主事業推進委員会</p> <p>24. 情報提供グループ</p>	<p>びかけるため各種説明会を実施 対象：会員ボランティア、市民等 定員：50名程度 参加費：無料</p> <p>(2) 外国人ボランティア交流会 (上記(1)との隔年開催) 期間：年1回開催 内容：MIAのボランティア活動への参加を外国人に呼びかけるため説明会と外国人同士の交流会を実施</p> <p>対象：会員ボランティア、市民等 定員：30名程度 参加費：無料</p> <p>期間：随時 内容：ボランティアの活動の支援として様々な研修、講座を開催 対象：会員ボランティア 定員：30名程度 参加費：1,000円程度</p> <p>期間：年4回開催 内容：会員の自主的な活動を推進するため各自主事業グループ代表、会員の推薦する委員などによって構成される委員会であり、会員から申請される新規事業の検討・承認・推進やボランティア間の情報交換を行う。 対象：会員ボランティア 定員：16名</p> <p>内容：「情報提供グループ」は、活動メンバーが減ったことや情報収集の多様化などによる情報コーナ</p>	<p>実施する。</p>

事業名	概要	備考
25. イベントグループ	<p>一の利用回数が漸減したためより有効な活動について検討することにして平成 23 年度で活動を一度終了した。</p> <p>内容：外国人会員企画事業であるシリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」の準備、実施のためのサポートを中心に活動 対象：会員ボランティア</p>	
26. FMラジオ番組運営委員会（多言語ラジオ番組）	<p>内容：むさしのFMラジオ番組(多言語)における「NEWS from MIA」の原稿作成、翻訳、収録及び「MIAプラザ」の出演など運営を担当。 対象：会員ボランティア</p>	
27. 情報紙編集委員会	<p>内容：「情報誌編集委員会」は、活動休止のメンバーが増えたことから7月号をもって「MIA Volunteer News」を休刊とした。</p>	
28. 外国人ボランティア支援グループ	<p>内容：MIA 登録外国人がボランティアとして自国の文化を紹介する際（外国人会員自主企画事業など）の実務面のサポート。 対象：会員ボランティア</p>	
29. こども国際交流クラブ	<p>期間：随時、年 10 回開催予定 内容：3 歳からのこどもと親対象の国際理解プログラム。 対象：会員、市民等及びその子ども 定員：18 名程度 参加費：お料理コース：1 組 2,000 円</p>	
30. 地域への外国人など派遣	<p>期間：随時</p>	

事業名	概要	備考
<p>31. シリーズ「世界を知ろう！世界のひととふれあおう！」</p> <p>32. 外国語会話交流教室</p> <p>33. 外国人会員企画事業</p>	<p>内容：地域の小中学校などへ外国人を派遣。直接、児童・生徒などと交流し、外国の衣食住・多様な言語・文化などを紹介</p> <p>対象：地域の小・中学校、コミュニティセンターなど</p> <p>定員：派遣先の団体による</p> <p>期間：年4～5回開催予定</p> <p>内容：イベントグループのサポートで外国人会員が出身の国や文化を紹介</p> <p>対象：会員、市民等</p> <p>定員：25名</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：年4コース開催（土曜クラス3コース、平日クラス1コース）</p> <p>内容：外国人会員が8回を1コースとして自国の言語や文化を紹介しながら市民と交流</p> <p>対象：会員、市民等</p> <p>定員：20名（最少催行人数10名）</p> <p>参加費：6,000円</p> <p>期間：年3～4回開催</p> <p>内容：外国人会員の自主企画として料理、音楽などの文化・特技を幅広く紹介</p> <p>対象：会員、市民等</p> <p>定員：原則20名（最少催行人数10名）</p> <p>参加費：2,000円</p>	
<p>[8] 国際交流及び国際協力に関する地域団体との連携 <u>348千円</u></p> <p>34. 地域連携・共催</p>	<p>期間：随時</p> <p>内容：地域における国際交流及び多文</p>	

事業名	概要	備考
35. 他団体との協働・助成・後援	<p>化共生の推進、地域活性化のため地域連携を推進。市内の諸団体との共催イベントや、さかいマルシェ、武蔵境ピクニックなどの地域イベントへ出店及び参加。また、地域の大学などに外国人会員、協会ボランティア、協会職員などを講師として派遣し、当協会の活動や多文化共生について理解促進に努める。</p> <p>内容：市内各団体、企業、学校、NPO、他国際交流協会、都内相談ネットワークなどと連携協働。事業単位では、助成・後援を随時行う。また、協会の会議室、印刷機、団体紹介等の便宜を図る。</p>	

〔国際交流及び国際協力の調査研究及び広報に関する事業〕

事業名	概要	備考
<p>[9] 国際交流及び国際協力に関する調査研究</p> <p>36. 国際交流・協力に関する調査研究</p>	<p>内容：国際交流・協力に関する調査研究をアンケート、資料収集、専門家からの意見聴取などにより適宜実施</p>	
<p>[10] 国際交流及び国際協力に関する広報 <u>1,450 千円</u></p> <p>37. 機関紙「むさしの FRIENDs」の発行</p>	<p>内容：協会の活動方針、在住外国人が抱える問題などをテーマにした特集記事、活動報告、及び各種イベントの案内などを掲載する機関紙を年4回、各回1,600部発行。機関紙は会員の他、地域公共施設などに無料で配布</p>	
38. MIA ホームページによる	<p>内容：イベント情報やボランティア募集情報</p>	

事業名	概要	備考
発信	を随時発信し、協会の効果的な工法を行う。パソコンに加え、スマートフォンにも対応するなど、活用しやすい情報ツールとなるよう努める。	

収 支 予 算 書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：円)

科 目		令和2年度			備 考
		公益目的事業会計	法人会計	合 計	
大	中 科 目				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益		0	800	800	
	基本財産受取利息	0	800	800	定期預金運用
特定資産運用益		500	100	600	
	特定資産運用利息	500	100	600	退職給付引当資産
受取会費		1,300,000		1,300,000	
	個人会員受取会費	1,000,000	0	1,000,000	1年2.5千円 3年会員6千円
	家族会員受取会費	140,000	0	140,000	1年3.5千円 3年会員9千円
	団体会員受取会費	160,000	0	160,000	1口1.1万円
事業収益		4,126,000		4,126,000	
	日本語学習の支援	1,385,000	0	1,385,000	日本語コース参加者負担金等
	通訳者の派遣及び翻訳	1,350,000	0	1,350,000	通訳派遣料及び翻訳料
	地域における国際理解の推進	365,000	0	365,000	青年WS、国際交流まつり等
	国際交流及び協力に関するボランティア活動の支援	600,000	0	600,000	外国人会員企画事業等
	国際交流及び協力に関する地域団体連携	150,000	0	150,000	地域団体への講師派遣等
	国際交流及び協力に関する広報	276,000	0	276,000	バナー広告料
受取補助金等		63,114,000	11,402,000	74,516,000	
	市受取補助金	63,100,000	11,400,000	74,500,000	武蔵野市運営補助金
	その他補助金	14,000	2,000	16,000	武蔵野市勤労者互助会
受取寄付金		10,000	0	10,000	
	受取寄付金	10,000	0	10,000	会員寄付等
雑収益		10,500	100	10,600	
	受取利息	500	100	600	普通預金利息
	雑収益	10,000	0	10,000	複写機使用負担金等
経常収益 計		68,561,000	11,403,000	79,964,000	
(2) 経常費用					
事業費		69,589,000		69,589,000	協会の事業に要する経費
	給料手当	35,652,000		35,652,000	常勤職員7名
	通勤費	681,000		681,000	同上
	福利厚生費	5,975,000		5,975,000	同上
	退職給付費用	1,210,000		1,210,000	常勤職員4名
	会議費	74,000		74,000	委員会、反省会等
	旅費交通費	1,798,000		1,798,000	ボランティア交通費等
	通信運搬費	737,000		737,000	郵送料、宅配便等
	消耗品費	991,000		991,000	事務用品、材料費等
	筆耕翻訳料	486,000		486,000	MIA Calendar 翻訳料等
	印刷製本費	1,942,000		1,942,000	機関紙印刷等
	賃借料	12,405,000		12,405,000	事務所賃借料、イベント用機器賃借料
	広告料	2,085,000		2,085,000	むさしのFM番組放送料
	保険料	168,000		168,000	ボランティア、イベント、事務所保険等
	支払手数料	65,000		65,000	振込手数料等
	諸謝金	3,046,000		3,046,000	研修講座の講師謝金等
	支払助成金	580,000		580,000	地域の国際交流事業助成等
	委託費	1,694,000		1,694,000	複写機保守料等

(単位：円)

科 目		令和2年度			備 考
		公益目的事業会計	法人会計	合 計	
大	中 科 目				
	管理費		10,769,000	10,769,000	協会の管理に要する経費
	役員報酬		4,598,000	4,598,000	理事、評議員、監事、監査報酬等
	通勤費		252,000	252,000	理事長分
	福利厚生費		12,000	12,000	同上
	退職給付費用		0	0	同上
	交際費		50,000	50,000	新年会、地域団体会合費等
	会議費		10,000	10,000	理事会、役員会等の費用
	旅費交通費		10,000	10,000	役員出張旅費
	通信運搬費		361,000	361,000	電話料、郵送料等
	消耗什器備品費		500,000	500,000	パソコン、事務機器等
	消耗品費		200,000	200,000	事務用品
	図書・研修費		110,000	110,000	新聞、雑誌の購読料、書籍代等
	修繕費		100,000	100,000	事務機器修繕等
	印刷製本費		50,000	50,000	封筒印刷等
	光熱水料費		312,000	312,000	電気使用料等
	賃借料		1,394,000	1,394,000	事務用機器リース料
	事務所管理費		844,000	844,000	事務所清掃費等
	支払手数料		35,000	35,000	振込手数料等
	租税公課		20,000	20,000	登記料、印紙税等
	負担金		60,000	60,000	負担金、年会費等
	諸謝金		20,000	20,000	パソコン、システム関連謝金等
	委託費		1,831,000	1,831,000	HP、会計ソフト等保守委託費用、会計顧問料等
	経常費用 計	69,589,000	10,769,000	80,358,000	
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,028,000	634,000	▲ 394,000	
	基本財産評価損益等	0	0	0	
	特定資産評価損益等	0	0	0	
	評価損益等計	0	0	0	
	当期経常増減額	▲ 1,028,000	634,000	▲ 394,000	
	2. 経常外増減の部				
	(1) 経常外収益				
	経常外収益計	0	0	0	
	(2) 経常外費用				
	経常外費用計	0	0	0	
	当期経常外増減額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0		
	当期一般正味財産増減額	▲ 1,028,000	634,000	▲ 394,000	
	一般正味財産期首残高	1,030,336	4,095,092	5,125,428	
	一般正味財産期末残高	2,336	4,729,092	4,731,428	
	II 指定正味財産増減の部				
	受取補助金等				
	市受取補助金	0	0	0	
	受取寄付金				
	受取寄付金	0	0	0	
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
	指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000	法人基本財産
	指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000	
	III 正味財産期末残高	2,336	7,729,092	7,731,428	

収支予算書（前年度対比）

令和2年4月1日～令和3年3月31日

（単位：円）

大	科 目 中 科 目	令和2年度			令和元年度			前年度比	備 考
		公益目的事業 会計	法人会計	合 計	公益目的事業 会計	法人会計	合 計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益		0	800	800	0	800	800	0	
基本財産受取利息		0	800	800	0	800	800	0	定期預金運用
特定資産運用益		500	100	600	500	100	600	0	
特定資産運用利息		500	100	600	500	100	600	0	退職給付引当資産
受取会費		1,300,000		1,300,000	1,300,000		1,300,000	0	
個人会員受取会費		1,000,000		1,000,000	1,000,000		1,000,000	0	1年2.5千円 3年会員6千円
家族会員受取会費		140,000		140,000	140,000		140,000	0	1年3.5千円 3年会員9千円
団体会員受取会費		160,000		160,000	160,000		160,000	0	1口1.1万円
事業収益		4,126,000		4,126,000	3,327,000		3,327,000	799,000	
日本語学習の支援		1,385,000		1,385,000	858,000		858,000	527,000	日本語コース参加者負担金等
通訳者の派遣及び翻訳		1,350,000		1,350,000	1,085,000		1,085,000	265,000	通訳派遣料及び翻訳料
地域における国際理解の推進		365,000		365,000	345,000		345,000	20,000	青年WS、国際交流まつり等
国際交流及び協力に関するボランティア活動の支援		600,000		600,000	565,000		565,000	35,000	外国人会員企画事業等
多言語による各種相談事業		0		0	0		0	0	講師謝礼等
国際交流及び協力に関する地域団体連携		150,000		150,000	150,000		150,000	0	地域団体への講師派遣等
国際交流及び協力に関する広報		276,000		276,000	324,000		324,000	▲ 48,000	パンナー広告料
受取補助金等		63,114,000	11,402,000	74,516,000	56,014,000	10,402,000	66,416,000	8,100,000	
市受取補助金		63,100,000	11,400,000	74,500,000	56,000,000	10,400,000	66,400,000	8,100,000	武蔵野市運営補助金
その他補助金		14,000	2,000	16,000	14,000	2,000	16,000	0	武蔵野市勤労者互助会
受取寄付金		10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	
受取寄付金		10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	会員寄付等
雑収益		10,500	100	10,600	10,500	100	10,600	0	
受取利息		500	100	600	500	100	600	0	普通預金利息
雑収益		10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	複写機使用負担金等
経常収益 計		68,561,000	11,403,000	79,964,000	60,662,000	10,403,000	71,065,000	8,899,000	
(2) 経常費用									
事業費		69,589,000		69,589,000	62,818,000		62,818,000	6,771,000	協会の事業に要する経費
給料手当		35,652,000		35,652,000	28,914,000		28,914,000	6,738,000	常勤職員6名→7名
通勤費		681,000		681,000	504,000		504,000	177,000	同上
臨時雇賃金		0		0	1,254,000		1,254,000	▲ 1,254,000	アルバイト職員
福利厚生費		5,975,000		5,975,000	4,820,000		4,820,000	1,155,000	常勤職員6名→7名
退職給付費用		1,210,000		1,210,000	950,000		950,000	260,000	常勤職員3名→4名
会議費		74,000		74,000	77,000		77,000	▲ 3,000	委員会、反省会等
旅費交通費		1,798,000		1,798,000	1,616,000		1,616,000	182,000	ボランティア交通費等
通信運搬費		737,000		737,000	633,000		633,000	104,000	郵送料、宅配便等
消耗品費		991,000		991,000	1,033,000		1,033,000	▲ 42,000	事務用品、材料費等
筆耕翻訳料		486,000		486,000	492,000		492,000	▲ 6,000	MIA Calendar翻訳料等
印刷製本費		1,942,000		1,942,000	2,694,000		2,694,000	▲ 752,000	機関紙印刷等
賃借料		12,405,000		12,405,000	12,292,000		12,292,000	113,000	事務所賃借料、イベント用機器賃借料
広告料		2,085,000		2,085,000	2,067,000		2,067,000	18,000	むさしのFM番組放送料
保険料		168,000		168,000	163,000		163,000	5,000	ボランティア、イベント、事務所保険等
支払手数料		65,000		65,000	65,000		65,000	0	振込手数料等
諸謝金		3,046,000		3,046,000	2,872,000		2,872,000	174,000	研修、講座の講師、派遣の謝金等
支払助成金		580,000		580,000	680,000		680,000	▲ 100,000	地域の国際交流事業助成等
委託費		1,694,000		1,694,000	1,692,000		1,692,000	2,000	複写機保守料等

(単位：円)

大	科 目 中 科 目	令和2年度			令和元年度			前年度比	備 考
		公益目的事業 会計	法人会計	合 計	公益目的事業 会計	法人会計	合 計		
	管理費		10,769,000	10,769,000		9,505,000	9,505,000	1,264,000	協会の管理に要する経費
	役員報酬		4,598,000	4,598,000		4,578,000	4,578,000	20,000	理事、評議員、監事、監査報酬等
	通勤費		252,000	252,000		240,000	240,000	12,000	理事長分
	福利厚生費		12,000	12,000		248,000	248,000	▲ 236,000	同上
	退職給付費用		0	0		0	0	0	退職金積立終了
	交際費		50,000	50,000		50,000	50,000	0	新年会、地域団体会合費等
	会議費		10,000	10,000		10,000	10,000	0	理事会、評議員会等の費用
	旅費交通費		10,000	10,000		5,000	5,000	5,000	役員出張旅費
	通信運搬費		361,000	361,000		370,000	370,000	▲ 9,000	電話料、郵送料等
	消耗什器備品費		500,000	500,000		300,000	300,000	200,000	パソコン、事務機器等
	消耗品費		200,000	200,000		157,000	157,000	43,000	事務用品等
	図書・研修費		110,000	110,000		110,000	110,000	0	新聞、雑誌の購読料、書籍代等
	修繕費		100,000	100,000		200,000	200,000	▲ 100,000	事務所、事務機器修繕等
	印刷製本費		50,000	50,000		50,000	50,000	0	封筒印刷等
	光熱水料費		312,000	312,000		300,000	300,000	12,000	電気使用料等
	賃借料		1,394,000	1,394,000		1,357,000	1,357,000	37,000	事務用機器リース料
	事務所管理費		844,000	844,000		836,000	836,000	8,000	事務所清掃費等
	支払手数料		35,000	35,000		25,000	25,000	10,000	振込手数料等
	租税公課		20,000	20,000		10,000	10,000	10,000	登記料、印紙税等
	負担金		60,000	60,000		60,000	60,000	0	負担金、年会費等
	諸謝金		20,000	20,000		20,000	20,000	0	パソコン、システム関連謝金等
	委託費		1,831,000	1,831,000		579,000	579,000	1,252,000	会計ソフトサポート、会計顧問等、HP保守関連
	経常費用計	69,589,000	10,769,000	80,358,000	62,818,000	9,505,000	72,323,000	8,035,000	
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,028,000	634,000	▲ 394,000	▲ 2,156,000	898,000	▲ 1,258,000	864,000	
	基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
	特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
	評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
	当期経常増減額	▲ 1,028,000	634,000	▲ 394,000	▲ 2,156,000	898,000	▲ 1,258,000	864,000	
	2. 経常外増減の部							0	
	(1) 経常外収益							0	
	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
	(2) 経常外費用							0	
	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
	他会計振替額	0	0	0	687163	-687163	0	0	
	当期一般正味財産増減額	▲ 1,028,000	634,000	▲ 394,000	▲ 1,468,837	210,837	▲ 1,258,000	864,000	
	一般正味財産期首残高	1,030,336	4,095,092	5,125,428	1,468,837	2,768,178	4,237,015	888,413	
	一般正味財産期末残高	2,336	4,729,092	4,731,428	0	2,979,015	2,979,015	1,752,413	
	II 指定正味財産増減の部							0	
	受取補助金等							0	
	市受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	
	受取寄付金							0	
	受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
	指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	法人基本財産
	指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	
	III 正味財産期末残高	2,336	7,729,092	7,731,428	0	5,979,015	5,979,015	1,752,413	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定	なし
--------	----

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定	なし
---------	----